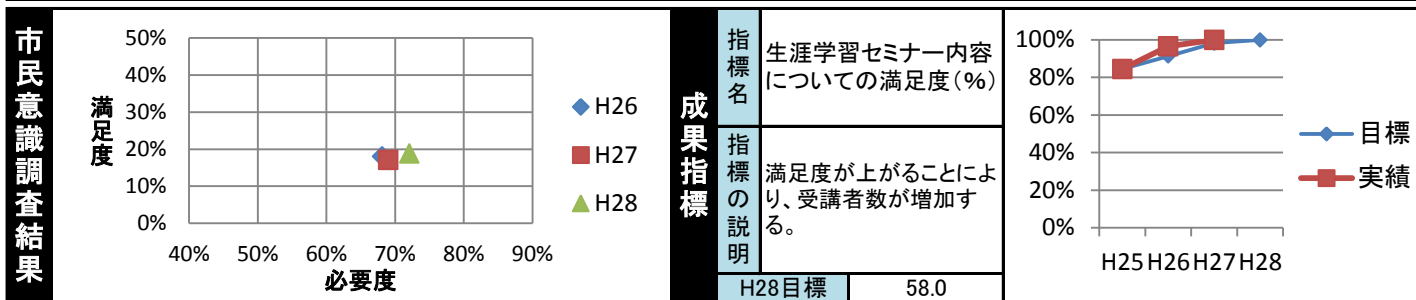


政策名等	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	54	生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり		450400	教育委員会生涯学習課	0595-22-9679
施策	5401	生涯学習活動の推進	評価責任者・役職名	教育委員会 教育次長 児玉 泰清		
基本情報	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進大綱を指針とし、生涯学習の総合的・計画的な施策の推進を図ります。 地区公民館からの情報発信を充実させるとともに、生涯学習センターを公民館の生涯学習活動や生涯学習の情報発信拠点と位置づけ、学習や交流の場としてネットワーク機能を充実させ、市民が参加しやすい体制を整えます。 市民への学習啓発と推進体制の充実に努め、地域・家庭の教育力を活性化し、子どもから大人まで幅広く学習できる場を提供します。さらに若者や中間層にある世代に配慮した活動環境の提供に努めます。 				
	施策の方向	生涯学習セミナーなど各種の講座、学習会を開催し、多様な学習機会の提供に努め、地域・家庭の教育力の向上を図るとともに、生涯学習活動への意識を高めます。				



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	<p>(平成25年度の取組内容と残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人式については見直し結果を踏まえ、市内9ヶ所での分散開催としました。応募者を含め実行委員会へ参画する新成人が増えており、新成人が主体となった実行委員会の体制が少しずつ定着しつつありますが、地域で祝う式典として地域住民への参画を働きかける必要があります。 市民への学習啓発のため、大学等の機関との連携により生涯学習セミナーを開催していますが、参加者数が非常に少ないのが課題であり、周知方法と内容の検証が必要です。 	<p>(平成26年度の取組内容と残された課題)</p> <p>【生涯学習推進啓発事業】 生涯学習セミナーを年5回開催しましたが、啓発及び市民ニーズに合っていないのか、計画していた受講者の集客ができませんでした。</p> <p>【成人式開催経費】 新成人自らが社会の一員であることを自覚するため、式典を開催しましたが、主体的な運営をめざす実行委員会への参画に課題があります。</p> <p>【栄楽館維持管理経費】 生涯学習施設として運営しましたが、立地条件から中心市街地のにぎわい施設として活用について検討する必要があります。</p>	<p>(平成27年度の取組内容と残された課題)</p> <p>【生涯学習推進啓発事業】 * 27年度は、「万葉集と伊賀」を統一テーマとして開催しており、毎回多数の受講者があります。 * 28年度も1年間統一したテーマで行うことがよいと考えます。</p> <p>【成人式開催経費】 分散型で実行委員会形式の開催で、浸透してきましたが、新成人自らが主体的な運営をめざす実行委員会への参画に課題があります。</p> <p>【栄楽館維持管理経費】 生涯学習施設として運営しましたが、立地条件から中心市街地のにぎわい施設として活用について検討する必要があります。</p>
改善・取組方向	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進大綱に基づき、生涯学習センターを拠点に、だれもが生涯を通じて学び豊かな人生を送るため、より多くの市民の学習意欲に応えられるよう事業内容を検証していきます。 	<p>【生涯学習セミナーの開催】 市民ニーズに対応したテーマ「(仮称)万葉集と伊賀」を設定し、開催曜日、啓発内容の検証を行い、継続して実施していきます。</p> <p>【成人式の開催】 新成人が一層主体的に開催する体制づくりに努め、継続して開催します。</p> <p>【栄楽館の維持管理】 生涯学習施設から賑わいが創出できる施設へ用途変更するため、関係課と数回の協議を行いました。27年度においても引き続き検討を続けていきます。</p>	<p>【生涯学習推進啓発事業】 * 引き続き市民ニーズにあったテーマを設定し、生涯学習活動の推進を図ります。</p> <p>【成人式開催経費】 * 新成人が一層主体的に開催できる体制づくりに努めるとともに、地域組織の参画を図ります。</p> <p>【栄楽館維持管理経費】 * 立地条件から引き続き、中心市街地のにぎわい施設として活用策の検討を行います。</p>
改善ポイントと具体的な取組			

(続紙)

施策 5401

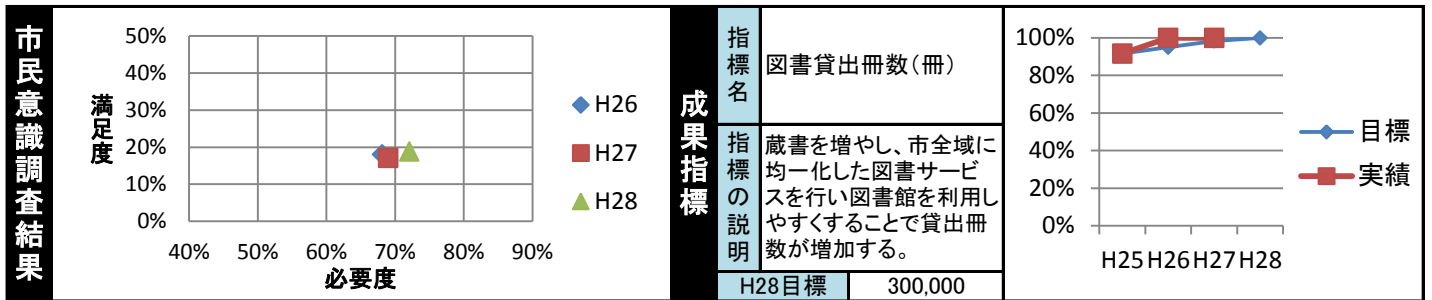
生涯学習活動の推進

(千円)

構成 事務事業 の重点 化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算	
	01	1	2	1	成人式開催経費(01-10-05-01-430-01)	成人式式典を開催し、新成人を祝い激励する。	2,286	1,853	↓	1,458	
	02	3	3	2	社会教育推進経費(01-10-05-01-430-51)	社会教育法第15条に定める社会教育委員を委嘱し、生涯学習の各種事業への助言を受ける。	3,951	3,702	↑	5,309	
	03	2	1	3	生涯学習推進啓発事業(01-10-05-01-431-51)	市民の学習意欲に応えることによって、自己実現の一助とする。また、大学等の機関との連携により学習の機会提供を図る。	634	600	↓	562	
	04				栄楽館維持管理経費(01-10-05-01-432-56)	生涯学習施設「栄楽館」の指定管理、修繕を行う。	5,955	5,770	↓	5,870	
	構成事務事業 合計							12,826	11,925		13,199

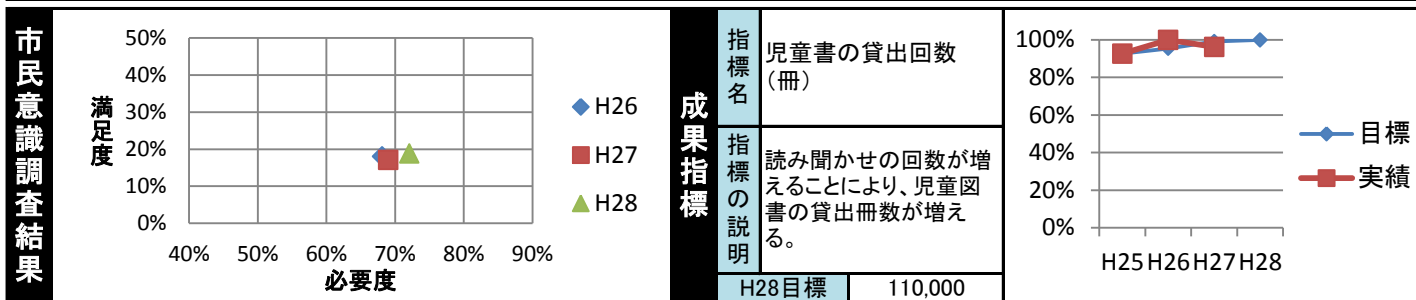
中間 総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	生涯学習推進大綱に基づき、生涯学習センターを拠点に市民が生きがいをもって生き活きと活躍できるよう、市民のニーズにあわせ、セミナーや講演会等開催し、学習意欲の定着を図ってきました。
	第2次再生計画 (仮称)への課 題、対応につい て	28年度は生涯学習推進大綱の最終年度となるため、これまでの事業の成果をしっかりと検証しながら、子どもから大人まで幅広く学習できる環境を整えていきます。

基本情報	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	担当部署	450700	教育委員会 上野図書館	連絡先	0595-21-6868
	施策	5402	だれもが利用しやすい図書館の充実	評価責任者・役職名	教育委員会 教育次長 児玉 泰清			
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の人口規模や既存の公民館図書室に考慮し、すべての人が利用しやすく心が潤うような、安心・安全でユニバーサルデザインによる新たな図書館の整備を行います。 ・貴重な歴史的郷土資料は今後も集積し、デジタル化して原資料を保存しながら、郷土学習への活用と次世代への継承を図ります。 ・公民館図書室を上野図書館の分館と位置づけ、身近な図書室で図書館と同様のサービスを受けられるようシステム連携や配送サービス、相談業務を充実させます。 ・業務の一括委託など効率化に努めます。 						
施策の方向	どの世代の市民もこれからの地域のありようを市民自らが決定するため、判断材料となる情報・資料の拠点づくりを推進します。							



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) ・公民館図書室を上野図書館の分館と位置づけ、システム連携や配送サービスを実施しました。身近な図書室で同様のサービスが受けられることを市民にもっと発信して、図書館・図書室の利用促進を図っていく必要があります。また、図書館サービスの内容の充実に取り組む必要があります。 ・新図書館基本計画について、新図書館建設計画検討委員会から答申を受け教育委員会として検討しました。	(平成26年度の取組内容と残された課題) 【図書館管理経費】・図書館(室)業務の一括委託は調整できましたが、利便性の向上、賑わいの創出のため、上野図書館の開館時間の延長を行う必要があります。図書の高回転率を上げ、配送件数を伸ばすため、各図書館(室)が特色ある取り組みをし、認知度を高め、利用者増を図る必要があります。 ・図書館(室)への理解と啓発活動の充実を図るため、ホームページの開設を行いました。 ・図書館(室)は、学校教育を援助し、家庭教育の向上に資するよう努めなければなりません。図書館(室)の活用促進は、地域の教育力を向上させるため、施設整備は必要です。図書館は、交流・憩いの空間(場)、賑わいの創出に寄与できる施設として、方向性を示す必要があります。	(平成27年度の取組内容と残された課題) ・各図書館(室)が特色ある取り組みを企画し、市広報やホームページ、ケーブルテレビ等で情報発信し図書館(室)の利用促進を図りました。 ・本に親しみ読書活動を充実するため、学校との連携を図りました。今後も、地域の教育力の向上と交流・憩いの空間を提供する場所としての認知度を高めつつ、知の財産や歴史の宝庫である図書館(室)の役割や重要性について市民の理解を深めていく必要があります。 ・老朽化、狭隘化が進んだ上野図書館の施設整備に向け検討を行ってきましたが、市街地開発も含めたさらなる検討が必要です。乳幼児期から本に親しめるようさまざまな事業を行っているものの、トイレや専用スペースが無いため、子どもを連れて安心して利用できないという意見も多数寄せられています。
改善・取組方向	・図書館は、赤ちゃんから高齢者まで誰もが無料で利用でき、本と人をつなぐ司書がレファレンス(調べもの)するなど子どもの成長を支え、暮らしに役立つ施設です。多くの情報・資料の拠点であり、親しみやすく心が潤う場所です。このことをいろんな媒体を通じ発信し、利用促進に取り組めます。 ・新たな図書館は、利便性と合理性を重視した施設構成とし、図書館機能を発揮するよう、市の施設整備計画としてさらに検討します。	【図書館管理経費】 ・市広報やホームページ、ケーブルテレビ等で情報発信して利用促進を図っていきます。 ・社会的ニーズや賑わいの創出のため、上野図書館の開館時間の延長を引き続き検討していきます。 【図書室運営管理経費】 ・ミニ展示や特集コーナー等を設けて、一層の情報発信に努め、分館図書室の利用促進を図っていきます。	【図書館管理経費】 ・図書館(室)と学校の連携の一つとして、ふるさと応援寄付金で購入した団体貸出文庫を活用し、各学校へブックトークを実施しながら子どもたちが本に親しむ環境を醸成します。 ・図書館(室)の役割や重要性について市民の理解が深まるよう、図書館を利用したイベントなどを企画し、新しい図書館文化の構築を図ります。 ・市広報やホームページ、ケーブルテレビ等で情報発信して利用促進を図っていきます。 ・市民の社会的ニーズを反映し、上野図書館の開館時間を延長、ばらつきがあった各図書館の開館時間も統一し、利便性を高めることとします。 【図書室運営管理経費】 ・ミニ展示や特集コーナー等を設けて、一層の情報発信に努め、分館図書室の利用促進を図っていきます。
改善ポイントと具体的な取組			

基本情報	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	担当部署	450400	教育委員会生涯学習課	連絡先	0595-22-9679
	施策	5403	子どもの読書活動を推進するための体制づくり	評価責任者・役職名	教育委員会 教育次長 児玉 泰清			
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長に応じた読書習慣の定着を図り、自ら進んで読書に親しめるよう、伊賀市子ども読書活動推進計画を推進します。 ボランティアの協力を得ての読み聞かせの実施や読書に親しむ環境づくりを行うとともに、学校図書館との連携に努めます。 分館を含め図書館の資料の充実を図り、新鮮で魅力ある図書館づくりを進めます。 						
施策の方向	家庭や上野図書館・図書館分館、学校等のそれぞれの場所において、また、それらが連携し合うことで、子どもが自然に本に親しむ環境を整え、自ら進んで読書に親しめるよう取り組みます。							



改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	平成26年度 (平成25年度の取組内容と残された課題) ・「第二次伊賀市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校、地域、家庭等と連携し、自ら進んで読書に親しめるよう、読み聞かせやお話会などの取り組みを進めていますが、年齢が進むにつれて読書時間、読書量が減少しています。	平成27年度 (平成26年度の取組内容と残された課題) ・「第二次伊賀市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校、地域、家庭等と連携し、自ら進んで読書に親しめるよう、読み聞かせやお話会などの取り組みを進めていますが、年齢が進むにつれて読書時間、読書量が減少しています。	平成28年度 (平成27年度の取組内容と残された課題) 【子ども読書活動推進事業】 ・読み聞かせやお話会などの取り組みを進めていますが、年齢が進むにつれて読書時間、読書量が減少しています。 ・子どもの読書離れが、学力にも影響する懸念があります。
	改善ポイントと具体的な取組	・家庭、図書館、学校等が連携することで、本に親しむ環境を整え、子どもが自ら進んで読書に親しむよう取り組みを図っていきます。	・家庭、図書館、学校等が連携することで、本に親しむ環境を整え、子どもが自ら進んで読書に親しむよう取り組みを図っていきます。 ・「第二次伊賀市子ども読書活動推進計画」は、平成25年度から平成29年度までの5年間としているが、「伊賀市生涯学習推進大綱」にまとめて推進していく考えです。	【子ども読書活動推進事業】 ・家庭、図書館(図書室)、学校等が連携することで、本に親しむ環境を整え、子どもが自ら進んで読書に親しむよう取り組みを図ります。 ・「第二次伊賀市子ども読書活動推進計画」は、平成25年度から平成29年度までの5年間としています。他事行との連携を図り「再生計画」にまとめて幅広い推進を行っていきます。

(続紙)

施策 5403

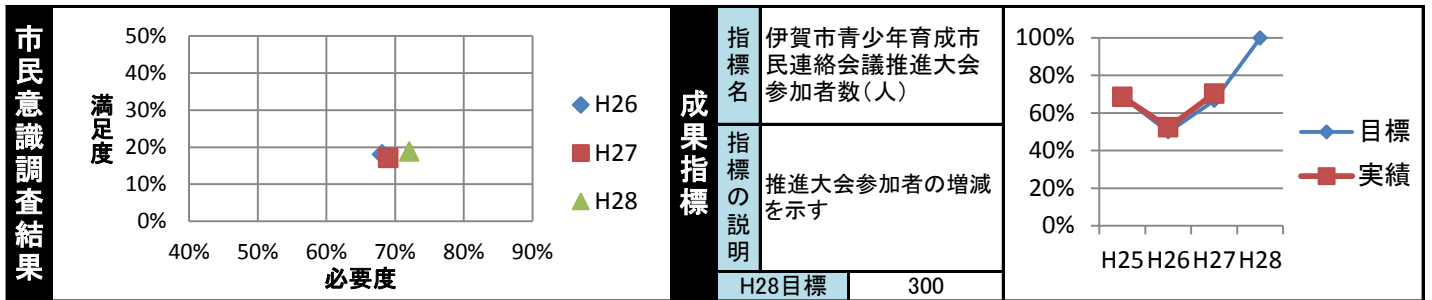
子どもの読書活動を推進するための体制づくり

(千円)

構成事務事業の重点化	No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算	
	構成事務事業 合計							0	0		0

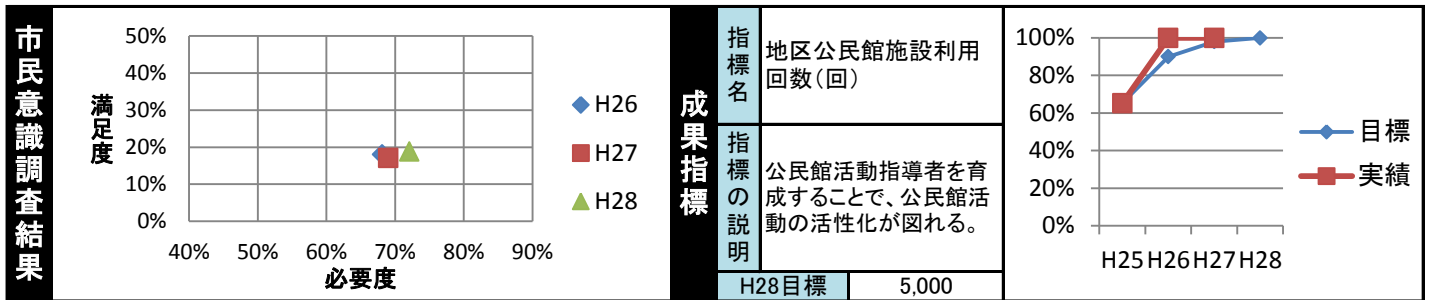
中間総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	子どもたちの成長に応じた読書習慣の定着を図るため、「伊賀市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・学校・地域等が連携し、子どもの読書活動を推進してきました。ボランティアグループの読み聞かせに加え、27年度からは第3土曜授業における読書活動、また28年度からは上野図書館の開館時間の延長等、読書に親しむ環境が整備されてきています。
	第2次再生計画 (仮称)への課題、対応について	読書活動は子どもの生涯にわたる学習活動の基礎であるため、今後もボランティアの協力を得るなど読書に親しむ機会を多く持ち、子どもが主体的、意欲的に読書活動ができるよう取り組んでいきます。

基本情報	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	担当部署	450400	名称	教育委員会生涯学習課	連絡先	0595-22-9679
	施策	5404	青少年健全育成を推進するための体制づくり	評価責任者・役職名	教育委員会 教育次長 児玉 泰清				
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭における教育力を向上させるため、養育、教育等に関する相談体制の充実や家庭教育の充実を図ります。 ・家庭・学校・地域・企業・市が連携し、次代を担うすべての子どもの幸せと健やかな成長を図ります。 ・子育てや子どもの健全育成の指針となる「輝け！いがっ子憲章」や家庭、地域、学校、企業、市それぞれの行動計画を広く市民に啓発します。さらに、青少年の非行防止活動や社会環境浄化活動の展開を図り、社会規範の維持向上をめざします。 							
	施策の方向	次代を担う子ども・若者は、自他ともにかけがえのない存在であり、自ら進んで社会参加できるよう、家庭・学校・地域が連携した青少年の健全育成の取り組みを支援するとともに、青少年の安全確保と健全育成のための環境づくりを促進します。							



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	<p>(平成25年度の取組内容と残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成事業については、伊賀市の一体化した青少年育成団体として活動ができるよう本年度から新たな補助金制度により支援をしていますが、運営において団体の自主的な事務局体制に見直す必要があります。 ・地域の協力により現在7つの放課後子ども教室が運営されていますが、次年度から放課後児童クラブと放課後子ども教室の運営が一体化または連携したしくみとなるため、地域の実情に応じた適切な体制づくりが必要です。 	<p>(平成26年度の取組内容と残された課題)</p> <p>【青少年健全育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 青少年健全育成団体への支援策の見直しは行いましたが、すべての団体が自主運営できる体制には至っていない状況です。 * 青少年健全育成に積極的な団体に対して支援していく方策の構築を行いました。 * 青少年健全育成団体への補助金の不均衡の解消を図るとともに、積極的に活動する団体(組織)に対しての支援策を構築しました。 <p>【放課後子ども教室推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な体験や活動ができるよう「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと連携し、すべての児童が安全・安心な放課後の居場所づくりを行いました。 	<p>(平成27年度の取組内容と残された課題)</p> <p>【青少年健全育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 青少年健全育成団体については、統一した事業を行うようになって来ましたが、地域における個々の団体については、一部を除き自主運営できる体制には至っていない状況です。 * 青少年健全育成に積極的な団体(組織)に対して支援していく方策の構築を行いました。が、事業の継続に不安があります。 <p>【放課後子ども教室推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「放課後子ども総合プラン」に基づき放課後児童クラブと一層の連携を行っていく必要があります。
改善・取組方向	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成団体の事務局体制については、改善できるよう関係団体と協議をしていきます。 ・一体型または連携して実施する放課後児童クラブと放課後子ども教室の新たな取り組みについては、地域への説明と理解を求めていきます。 	<p>【青少年健全育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域の活動を広く情報提供、情報交換することにより、活動の普及・推進を行い、健全育成の推進つなげていきます。 <p>【放課後子ども教室推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * すべての児童が安全・安心な放課後の居場所づくりを提供するため、「放課後子ども総合プラン」に基づき継続して推進を行っていきます。 <p>【青少年センター運営経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き街頭補導や環境浄化活動を行い、青少年の非行防止に努めます。放課後子どもプランについては、「放課後子ども総合プラン」による新たな取り組みに基づき、関係課と連携しながら進めていきます。 	<p>【青少年健全育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 青少年健全育成団体においては、すべての団体が自主運営できる体制づくりの指導を強化していきます。 * 青少年健全育成活動の広がりや活動団体の組織体制の充実のための地域の指導者(コーディネーター役)の構築を行っていきます。 <p>【放課後子ども教室推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「放課後子ども総合プラン」に基づき放課後児童クラブと一層の連携を図ります。
改善ポイントと具体的な取組			

基本情報	政策名等	54	生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	担当部署	450600	教育委員会中央公民館	連絡先	0595-22-9637
	施策	5405	公民館活動の活性化と育成	評価責任者・役職名	教育委員会 教育次長 児玉 泰清			
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規参加者、特に中間年齢層(30代～50代)の参加について、アンケート結果等から、ニーズに合った新規教室を開設し、サークル活動の育成に結びつけます。 ・市民や地域住民が学ぶ機会を身近にできるような情報の収集、発信機能を充実させるとともに、地区公民館の施設整備や、指導体制の整備を進め、公民館活動の充実を図ります。 ・市民センターの自治センター化に伴い、地域の自治活動の拠点としての機能を持たせ、各地域において自主的な学習活動を行えるよう整備を進めます。 ・公民館での学習活動への取り組み指導や地域活動に対する支援の整理を行い、地域ニーズに合わせた運営を図ります。 						
	施策の方向	社会環境の急速な変化のなかで、精神的な豊かさや自己実現を求める傾向が強まっており、市民の学習に対する意欲はますます多様化、高度化しています。なかでも、活動に参加しづらい年代や子育て世代からは、活動時間や場所、子どもとの参加などワークライフバランスの一助となる生涯学習や、コミュニティ活動と生涯学習の連携による事業推進などが求められているため、生涯学習活動の拠点となる公民館活動を活性化させ、情報発信や事業連携などを積極的に進め、学習ニーズに合わせた事業の推進を図ります。						



改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	平成26年度 (平成25年度の取組内容と残された課題) ・社会教育法に基づき、各種講座・教室の開催を行いサークル活動の育成につなげていますが、20代から50代の参加者が少ない状況にあります。	平成27年度 (平成26年度の取組内容と残された課題) 【公民館事業経費】 * 上野公民館と生涯学習課がよく似た事業を実施しているため、できる限り生涯学習課との1本化を考えていく必要があります。 【分館活動経費】 * 上野地区と青山地区の住民自治協議会へ委託している分館活動のあり方を見直す必要があります。 * 地区市民センターの自治センター化が検討されており、地域への説明と理解を得たうえで、分館規則の廃止と社会教育、生涯学習としての推進を図っていきます。	平成28年度 (平成27年度の取組内容と残された課題) 【公民館事業経費】 * 各地区においてニーズに合った新規教室を開設するとともに、サークル活動の育成を行い公民館活動の推進を図ってまいりました。 * それぞれの地区公民館、分館も含めて公民館事業(活動)のあり方を検討する必要があります。 【分館活動経費】 * 分館活動として地域ニーズに合わせた講座開催やサークル活動の推進に努めました。 * 上野地区と青山地区の住民自治協議会へ委託している分館活動のあり方を見直す必要があります。
	改善ポイントと具体的な取組	・講座等についてはおおよそ3年で見直しを行っています。参加者の状況やニーズを把握しながら内容の検討を図ります。	【分館活動経費】 * 上野地区と青山地区の分館の位置づけを廃止していく方向の地区説明を行いました。 * 今後、全市的に公民館活動の推進施策を地区市民センターの自治センター化の検討と合わせて協議を行っていきます。	【公民館事業経費】 * 公民館活動が、地域の課題を解決していく活動支援策を検討します。 【分館活動経費】 * 地区市民センターの自治センター化に向けて、市長部局と協議を行い、上野地区と青山地区の住民自治協議会へ委託している分館活動のあり方を検討します。

